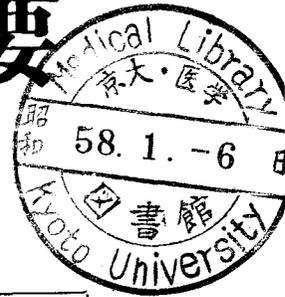


泌尿紀要  
Acta Urol. Jap.

Vol. 28, No. 12 ACTA UROLOGICA JAPONICA December 1982

# 泌尿器科紀要

第28巻 第12号 1982年12月



徐放性抗腫瘍剤カプセルの研究  
 ー前立腺腫瘍内埋め込み法の基礎的検討ー……………安井 平造…1451

<sup>123</sup>I-hippuran による renoscintigraphy の  
 泌尿器科領域における有用性について……………和志田裕人・ほか…1461

片腎障害時における Gentamicin の腎毒性に関する実験的研究……………金田 州弘…1467

前立腺癌の鑑別診断としての  
 逆行性尿道膀胱二重造影法 (D-RUC) の意義……………ウン・シータン…1481

前立腺癌の臨床統計的観察……………三浦 猛・里見 佳昭…1507

Radioimmunoassay 法による  
 Prostatic Acid Phosphatase 測定の臨床的検討について……………酒井 俊助・ほか…1513

褐色細胞腫10例の臨床的観察……………布施 秀樹・ほか…1521

結石の腎外自然脱出を認めた Renal tubular acidosis の1例 ……神田 英憲・ほか…1529

化膿性尿管管囊胞の3例……………藤岡 知昭・ほか…1533

第31回泌尿器科中部連合地方会  
 特別講演  
 Concepts in the Treatment of Bladder Cancer  
 ーClinical and Experimental ……Mark S. Soloway…1539

膀胱癌に関する実験的並びに臨床的研究……………平松 侃・ほか…1553

---

泌尿器科紀要28巻 総目次・物件索引・人名索引……………i~xxxiv

## 禁 帯 出

### 到着後 1ヶ月間

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

## 編集後記

本年9月米国シアトル市で開れた第13回国際癌会議で、米国国立癌研究所のデビタ所長 (V.T. Devita, Jr.) は、いまやアメリカにおいては癌患者の5年生存率は50%を確実に越えていると発表した。癌は2人に1人は治る、治しているというのである。

そういわれてみると、日本でも例えば国立がんセンターなどの成績はそれに近く、全体として大体同じくらいかやや低い程度にまでは達しているのではないかと思う。確かに多くの人が癌で死亡し、国民死因の第1位ではあるが、また多くの癌患者を治していることも事実である。

しかし一般には2人に1人は治るというふうには考えられておらず、むしろ癌は不治の病と思っている人が多い。そうしてこの無知、誤解にもとづく癌への恐怖心が、癌治療の障害の1つになっている。

癌は不治ではありません、多くの人が助るのですよ、2人に1人は治るのですよ、と国民にもっと語りかけねばならない。  
(O. Y.)

## 購読要項 (1983年1月改定)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料6,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都4772番泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込みは所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1982年6月改定)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 長さは制限しないが簡潔にする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
    - (i) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名(山田：または山田・ほか：)と、2語(例：前立腺がん・PSAP)からなる running title および5語(英文)以内の key words を付す。
    - (ii) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %, °C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はト

リミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。和文は楷書で、欧文はタイプする(例：山田<sup>1,3,7)</sup>, 田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。
- (8) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部がおこなう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。
- (9) 編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

## 3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費および最初1頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療器具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

## 4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

編集委員： 石神 襄次      前川 正信      宮崎 重      新谷 浩  
                 園田 孝夫      友吉 唯夫      桐山 畜夫(副主幹)      吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第28巻 第12号      1982年12月25日 印刷      1982年12月31日 発行

発行 吉田 修      顧問 加藤 篤 二      発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入